

議会だより みほ

2016.2.1

No. 112

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

美浦村の未来をみんなで語ろう！

議会報告会を開催

平成 28 年 2 月 13 日（土）午前 10 時～正午
美浦村役場 3 階大会議室

平成 27 年第 4 回定例会 ②

一般質問 ④

視察報告 ⑪

議員活動 ⑯



平成27年第4回定例会

平成27年第4回定例会は、12月8日から18日までの11日間の会期で行われました。

今定例会では、村長から人事案件、条例制定・改正、補正予算等の12議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり同意・可決されました。

また、議員からは意見書1件が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問は、15日に行われ、7人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、国・県補助事業の計上及び緊急性を要する事業に係る補正が主となっています。

会 計 名				補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計				1 億 2,788 万 8 千円	62 億 506 万 7 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険			△ 173 万円	22 億 7,060 万 3 千円
	公 共 下 水 道 事 業			1 億 7,090 万円	11 億 1,677 万 3 千円
	介 護 保 険			293 万 6 千円	9 億 4,594 万 1 千円
企業会計	電気事業	収益的	収 入	811 万 5 千円	9,774 万 8 千円
			支 出	236 万 7 千円	5,806 万 9 千円

※農業集落排水事業特別会計は、債務負担行為（注）の設定のみ

（注）債務負担行為とは：将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと

請 願

◆「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願

【請願者】

日本の青少年の健全育成を推進する会

代表 木本 信男

【紹介議員】

石川 修議員

【要旨】

青少年の健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、有害環境から青少年を守るための国や地方公共団体、事業者そして保護者等の責務を明らかにし、これによる一貫性のある、包括的、体系的な法整備を実現すること

【議決結果】

採択

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、警察庁長官

そ の の 議 案 と 審 議 内 容

区分	議 案	議 案 内 容
条例制定	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	個人番号の利用に関する規定が平成 28 年 1 月 1 日から施行されることに伴い、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関し、必要な事項を定めるためのもの
条例改正	美浦村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公務員法第 24 条の改正が行われたことによる所要の改正
	美浦村税条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律が平成 27 年 3 月 31 日に公布されたことによる所要の改正
その他	美浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成 28 年 3 月 12 日をもって任期満了となる委員に引き続き推薦 野口 亮仁 氏 (大谷) 古渡 和夫 氏 (木原)
	公の施設の指定管理者の指定について (美浦村立大谷時計台児童館) (美浦村立木原城山児童館)	【指定管理者】 シタックス大新東ヒューマンサービス株式会社 【指定期間】平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

平成 27 年第 4 回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成 27 年 12 月 8 日～12 月 18 日

議案 番号	件名	議決結果	賛否数		議 員 名													
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳
1号	美浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2号	美浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4号	美浦村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5号	美浦村税条例等の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7号	平成27年度美浦村一般会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8号	平成27年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9号	平成27年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10号	平成27年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11号	平成27年度美浦村介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12号	平成27年度美浦村電気事業会計補正予算（第1号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願	採択	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第1号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長 (沼崎 光芳議員) は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「－」は欠席を表します。



一 般 質 問

AEDのコンベニ設置



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 AEDは突然心臓が停止した人に電気ショックを与えて救命する医療機器で、心停止時にAEDの応急処置をした場合は、使用しなかった場合に比べて生存率が4・5倍も上昇することである。現時点での県南自治体のAEDのコンビニ設置状況・運用状況は。

質問 AEDは突然心臓が停止した人に電気ショックを与えて救命する医療機器で、心停止時にAEDの応急処置をした場合は、使用しなかった場合に比べて生存率が4・5倍も上昇することである。現時点での県南自治体のAEDのコンビニ設置状況・運用状況は。

答弁 (総務部長) 平成27年12月1日現在、龍ヶ崎市・河内町・利根町の1市2町で、AEDを行政がリリースし、設置している。

そのほか、取手市・牛久市・

稲敷市は平成28年度に設置予定。

質問 コンベニとの設置許可及び運用協定等についての協議は、これまで行ってきたのか。

答弁 (総務部長) 美浦村AED設置事業に関する協定書ができており、今年度内にも設置できるよう努める。

質問 村長車と議長車にもAEDを設置しているが、これらの車は利用者が限定される。設置した理由は。



自動体外式除細動器



答弁 (総務部長) 村長と議長は地区のイベントや多種行事に出向くことが多く、AEDが必要となった場合に即座に使用できるため。

質問 学校で遅くまでグラウンドで部活等をやっている、校舎の施設後に心停止状態となり、AEDが校舎内に設置してあったため、AEDの使用ができなくて手遅れとなったという事例もある。そのようなことが起きないよう公共施設のAEDを建物の外に設置できないか。

答弁 (総務部長) 龍ヶ崎市では小中学校の建物外にAEDを設置しているとのことだが、屋外用ボックスはAED

を含まず1台当たり約20万円の設置費用がかかるとのこと。設置費用・盗難保険等を含め、検討していきたい。

質問 公共施設の建物外への設置が費用的に難しいということならば、費用面からもコンビニに設置したほうが効果的だと思う。ただ、コンビニのない安中地区の公共施設には、やはり建物の外に設置すべきと考えるが。

答弁 (総務部長) 安中地区にはコンビニがないので、安中郵便局の前にAED屋外用ボックスを設置するなどしてサービスの公平化を図ってきたい。

質問 村長の見解は。

答弁 (村長) 各地区に設置の方向で進めてまいりたい。



村内ーCT化について



い い だ よ う じ
 飯 田 洋 司
 議 員



質問 平成27年3月定例会にて質問したタブレットの全戸配布と行政サービスのーCT利活用は。

また、「日本郵政」と「BM」の高齢者向け見守りサービスとの連携は。

答弁（総務部長） タブレットを全戸配布した場合のコスト負担と転出等の対応などが難しいので、既に所有、これから取得予定者に情報取得の利便性を向上させる仕組みを優先させる。

答弁（保健福祉部長） 日本

郵政の方策は、ーCT化をうまく利用し、情報提供の手段として有効であると考ええる。しかし、現時点では実証実験を通じた民間活力の今後の検証結果を待ち、見守っていきたい。

質問 「自治体スマホ連絡協議会」の事業には、スマートフォンを活用した

①各戸への自治体からの連絡や災害時の連絡手段の確保
 ②子どもや高齢者の見守りネットワークの創出。

③歩数計アプリによる健康増進の取り組み。

④買い物難民など高齢者の問題の解決。

⑤観光の促進。

行政サービスの実証実験が始まったが、自治体スマホ連絡協議会への本村の参加は。

答弁（総務部長） 直ちに参加するよりも参考になる事例があれば、今後の施策に取り入れていく。

質問 自治体情報セキュリティクラウドへの加入・検討は。

答弁（総務部長） 負担金の条件、構築時期等、総合的に判断することになるが、参加の方向で考えている。

地区開発について

質問 本村物産館と阿見町の道の駅との競合対策は。

答弁（経済建設部長） 現在、計画中の地域交流館のうち、農産物直売施設が競合すると考える。対策として、地方創生先行型上乘せ交付金2,500万円を活用し、新交流拠点施設を基地としたマツシユルーム・パブリカ等地域農産品の直売、並びに、商品化事業を進めている。これにより、美浦村の物産館の特色を出し、阿見町の道の駅との差別化を図っていく。



地域交流地区施設配置計画



一 般 質 問

幹線道路網上新田木原線について



はなし こういち
葉梨 公一
議員

質問 一般県道上新田木原線（以下「上新田木原線」）の工事進捗状況と今後の予定は。

答弁（経済建設部長） 現在工事は、茨城県亀ヶ崎工務所が進めているが、県企業局県南水道事務所の導水管敷設計画があることや、一部道路の縦断修正が必要になる。そして、一番の課題が木原・浜の消防小屋が建っている場所が共有地であることがネックになっており、土地取得に多くの時間がかかるため、見通しがたたないというのが現状である。



一部供用開始となった一般県道上新田木原線

質問 上新田木原線を阿見町島津地先の圏央道アクセス道へ清明川土地改良区の水田沿いの農道を拡幅して通す考えは。

答弁（経済建設部長） 上新田木原線と連絡する道路としては、国道125号バイパスまでを結ぶ都市計画道路布佐・上宿線の整備事業を優先

して推進したい。

答弁（村長） まず課題の共有地の部分を解決し、上新田木原線を旧国道125号木原郵便局まで開通させることが今後の整備に向けて大事なことだと思う。これができればかなり早目の整備につながっていくと思うので、それには地元と村が一体となって協力し合い開通に向けて進めていきたい。

質問 安中・大山地区の現況から、大山東部地区への拡幅計画は。

答弁（経済建設部長） 茨城県亀ヶ崎工務所では、通学路の確保のため、大山の南田バス停から大山バス停の区間の歩道の整備を進めている。現状としては、明確な整備計画はない。



道幅が急に狭くなる安中・大山地内

質問 国有地東京医科歯科大学付属分院跡地の払い下げと、その後の公園等の整備計画に伴っての上新田木原線の拡幅は必要と考えるが村の考えは。

答弁（経済建設部長） 村としても重要なアクセス道路となってくるので、拡幅整備は必要だと思う。県に強く要望していく。

美浦村農業の活性化について



た け べ す み お
 竹部 澄雄
 議 員

浦そだち」のPRと販売促進は。

答弁（経済建設部長） J A

稲敷・J A 茨城かすみの両農協が主体となり、各農協で年間7回程度活動している。事例として、田植え、稲刈り体験、

みほ産業文化フェスティバル、大洗あんこう祭、鹿島サッカー

スタジアム、中山競馬場等での販売活動、ポケットファーム

どきどきつくば牛久店では試食会を実施している。平成27

年度は、県主催の事業とタイアップし、いばらきプレミアム

商品カタログ「厳選いばらき100Story」に掲載。また、商工会青年部と共同で成

田空港での「AIRPORT MARKET空市」に参加した。

質問 本村ふるさと納税で

「光一点」「美浦そだち」の注文はどのくらいあるのか。

答弁（経済建設部長） 平成

21年度から平成27年11月末までに「光一点」47個、「美浦そだち」62個の注文。

質問 茨城県の事業で「プレ

ミアム付お米券」の取扱店が本村では一力所しかなかったのはなぜか。

答弁（経済建設部長） 県が

直接業者に募集を行い、各自治体に対して事業内容の周知もなかったことから村から要請もできなかった。

質問 地産地消のために、農

産物直売所の増設、個人消費者と米の受注生産をする考えはあるのか。

答弁（経済建設部長） 現在、

農産物直売所はJ A 茨城かすみの「まごころ市」と「美浦村農産物直売所」の二カ所だが、役場周辺地区計画の地域

交流館内に物産館を建設。2

力所の直売所の方にも参加いただく。米の受注生産については、消費者個別の取り引きとなると、さばける量の問題、保管の問題、送料等で販売価格が割高になる。農家の皆様の意向等を聞きながら、受注生産できるか検討する。

道路交通法の改正における 自転車運転講習について

質問 自転車運転の交通法改

正に伴い、村内の生徒に対して交通安全の指導はしているのか。

答弁（教育次長） 児童・生

徒の交通安全指導は、各学校でそれぞれ全体指導、学級ごとの指導、毎朝の立哨指導、

警察・交通安全協会等の講習、自転車運転の実技指導、通学自転車の整備点検、自転車通学者に法改正後の交通ルールの説明を行った。



一般質問

認知症支援の取り組みについて



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 近年、介護における痛ましい事件・事故が後を絶たない。平成27年11月には、介護疲れの娘が、認知症の母親と病気の父親を車に乗せたまま、利根川に一家心中を計る悲しい事件が起きた。今後約十年で認知症患者数は700万人に達すると見られ、実に高齢者の5人に1人になると推計される。来たるべき事態に備え対策が急がれる。認知症サポーターの更なる養成や、教育現場等での認知症理解の推進強化は必要である。また、介護者への更なる支援として、『認知症力フェ



設置の検討はどうか。これは、介護に関わる方々の憩いの場として、情報交流の場所として心強い支えになると思う。

答弁 (保健福祉部長) 厚生労働省を中心に策定された『新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)』を踏まえて様々な対応を強化して参りたい。『認知症力フェ』については、今後、本村で進めている『地域交流館(仮称)』建設事業に伴い、気兼ねない居場所スペースとして利用ができないか検証を重ねていきたい。

『新オレンジプラン』には、自治体において初期認知症支援チームの設置が推進されている。専門医や介護福祉士・保健師その他で編成され、早期診断から適切な治療や介護につなげる。その効果は大きいと思われるが。

質問 『新オレンジプラン』には、自治体において初期認知症支援チームの設置が推進されている。専門医や介護福祉士・保健師その他で編成され、早期診断から適切な治療や介護につなげる。その効果は大きいと思われるが。

答弁 (保健福祉部長) 当該チームの編成は、早期診断・早期対応に有効と思われる。しかし、小さな自治体では人材確保等に難しさがある。広域的な組織としての検討も考慮に入れ、進めていきたい。

質問 認知症は海外では、家族のみならず社会の『誰もが関わること』と認識されているようである。介護教室等を通じて、地域に広く普及・啓発することは重要と思われる。心こそ大切である。認知症高齢者等にやさしい地域は、決して認知症の人だけにやさしい地域ではない。困っている

人がいれば、その尊厳を尊重しつつ手助けをするというコミュニティのつながりこそが大切であり、地域づくりの試金石といえる。これは、当該プランの理念でもある。

答弁 (保健福祉部長) 介護教室等については、ご家族を初め、地域の方等も含め、広く交流の場としていきたい。認知症の方のみならず、誰もが自分らしく暮らし続けていける社会を目指し取り組んでまいりたい。



各種基金の積み立てについて



おかざわ きよし
 岡沢 議員

質問 過去の積み立て実績はどのような計画に基づくものか。

答弁（総務部長） 財政調整基金については、標準財政規模40億円の15%に当たる6億円を目安として積み立てている。現在は、約6億2,300万円の積み立てとなっている。減債基金については、特別に目標額の設定は行っていない。陸平基金については、村内のゴルフ場の利用者から、一人当たり50円の寄附金を合わせたものを積み立てており、年間約1,000万円

の積み立てとなっている。通学交通基金については、平成20年度に基金を設置して約1,800万円の積み立てとなっている。龍ヶ崎市方面に通学する生徒の保護者が中心となり、バスの運行資金となったものを積み立てたもの。

質問 平成28年度以降、3年間の積み立て計画について、財政調整基金・減債基金はどれくらいの残高を維持できるのか。

答弁（総務部長） 財政調整基金については、今後の財政



不足に対処するため、毎年1億円の取り崩しを見込んでいる。平成30年度末では3億円程度の残高となる。減債基金については、村債の償還金分の財源としての取り崩しを見込んでいるので、平成30年度末では、現在の約2億6,900万円から4,000万円程度となる。

質問 今後、多額の基金の取り崩しが予定される事業計画はあるのか。

答弁（総務部長） 公共施設の施設改善工事の財源として、公共公益施設整備基金4,000万円の取り崩し、さらに、陸平基金については、陸平貝塚の保存、活用等の財源として、毎年900万円の取り崩しを見込んでいる。そのほか、時期は未定だが、学校給食センターの建設の予定があり、学校施設建設基金をその時の財源として考えている。

質問 財政調整基金と減債基金について、5年後には枯渇するのではとの危惧を抱いている。財政改革に取り組むべき。どのような財政運営を行っているのか。

答弁（村長） これからの美浦村の財政のいい見通しは難しい。この何年かの事業の中で、選択と集中をより鮮明にしていかなないと、基金の枯渇という部分になるかもしれない。執行部だけでなく、議会の皆さんと一緒に考えていかなければならない。





一 般 質 問

携帯端末に配信する広報紙導入について



はやし 昌子
議員

質問 「いつでもどこでも手軽に読める広報紙」としてスマートフォンやタブレット端末に配信するサービスで、より情報周知の向上が図れるシステムの導入は。また、以下についてお尋ねする。

- ①現在の広報紙配布状況。
- ②より多くの住民が見やすく理解できるための工夫点。
- ③「くらしの便利帳」の電子化は。
- ④フェイスブックやツイッターでの情報伝達の充実は。
- ⑤広報みほの自動配信サービス導入、i 広報紙の導入。

答弁 (総務部長) ①11月30

日現在、5,795冊を配布。うち郵送数149件で個人宛93件、年間15万3,360円の郵送料がかかっている。②見出しは大きめに、小さい文字をなるべく使わない。必要最小限の説明と詰め込みすぎないこと、挿絵等を入れる。③平成28年度に新たに発行予定。④ホームページの※CMS機能とフェイスブックの連動上の問題、また、ツイッターの文字数制限と財政上の兼ね合いを含め検討する。⑤自治体の広報紙掲載が営利に利用



される懸念がある。利点を検討し、慎重に対応する。

答弁 (村長) ⑤那珂市で導入している部分を検証する。その上で、住民に利便性が図られるなら少しでも前進していきたい。

ロタウイルス予防接種助成について

質問 前回の質問時、「近隣の動向を見て検討する」との

答弁。助成実施の自治体が増えている今、公費助成については、どのようにお考えか。

- ①任意接種のおたふく風邪とインフルエンザ予防接種の助成実績。
- ②ロタウイルスの助成をしたときの予算予想額。
- ③来年度からの公費助成は。

答弁 (保健福祉部長) ①インフルエンザが3年間の合計

491万6,960円、おた



ふく風邪75万8,520円。②2回の接種で360万円の公費負担となる。ワクチンの価格高騰のため、かなり負担が大きくなる。

答弁 (村長) ③健康被害が間違いないと出ないという厚生労働省の発表が分かり次第、途中からでも実施をしていきたい。

※CMSとは
コンテンツ・マネジメント・システムの略で、Webサイトを管理・更新できるシステムのこと。

議会運営委員会 視察研修報告

視察日

平成27年10月15日～16日

視察先

・ 神奈川県愛甲郡清川村役場
 ・ 東京都府中市
 KDDーデータセンター

視察内容

現在、本村において計画・検討している防犯カメラの設置及び運用について、神奈川県愛甲郡清川村を視察しました。

清川村では、車両による暴



清川村役場にて研修



防犯カメラの設置状況

走（騒音）行為、窃盗、不審者、不法投棄など村民を脅かす犯罪を未然に防止し、安全で安心して暮らせる環境整備のため、平成20年3月に県道沿い5カ所に防犯カメラ等を設置し、本格的に運用を始めました。平成27年3月には、ハイビジョンカメラの増設及び既存アナログカメラのハイビジョン化を実施し、現在では7カ所13台の防犯カメラ等を運用しています。

また、防災対策としてライブカメラによる情報提供を行っているっており、村内に設置したカメラの映像を、村ホームページを通じてライブ映像で配信しています。

そのほか、既設防犯灯485基を20ワット型から36ワット型に更新し照度アップを図ったり、観測した村内の気象データを村ホームページにリアルタイムで提供するなど防犯・防災対策に真摯に取り組んでおりました。

防犯カメラ等の運用に関しては、村で設置・管理し、犯罪や暴走行為などが発生し、村の管理責任者が捜査協力に必要なだと判断した場合に限り、警察に提供しているそうです。村民等のプライバシーの配慮についても、神奈川県で策定したガイドラインや村で策定した要綱を遵守することにより適切に取り扱われていました。

清川村は防犯・防災の推進のため、調査・研究及び関係機関との協議を重ね、すばらしい管理体制・運用体制を構築しておりました。

続いてKDDーデータセンターを視察しました。

まず、本村議会がコスト削減のため、各議員がiPadを持ちKDDーのご協力のもと構築したシステム及び通信環境によりペーパーレス会議を実践しております。

さらに「開かれた議会」推進の一環として、KDDーより寄贈いただいた電子黒板2台を議場に導入し、iPadと同じ画面を傍聴席からも見えるように映し出すことにより分かりやすい議会を実践しております。

今後のICT機器活用 of のさらなる推進、知見を深めるため、ご教示いただきました。震度6強にも耐えられる免震・耐震構造と防火対策、24時間365日の監視による強固なセキュリティシステムの採用など長年のノウハウを生かした万全なサポート体制を整えておりました。



厚生文教常任委員会 視察研修報告

視察日

平成 27 年 11 月 5 日～6 日

視察先

・福島県会津若松市役所

視察目的

・地域住民の健康増進と医療費の抑制を目的とした※「フィールド・イノベーション」の取り組み調査に関する研修

視察内容

現在、美浦村の高齢化率は、25・2%で、4人に1人の高齢者を現役世代が支える環境となっており、これからますます進行していくことの歯止めと医療費の削減につながる対策は急務と考えます。

そこで、スマートシティ（コミュニティ）事業の中で、「フィールド・イノベーション」活用事業により、保健指導率が大幅改善し、

年間医療費を前年比約3,500万円削減した会津若松市を視察しました。

会津若松市は人口約13万人で、福島県下最大の城下町として発展してきた歴史と伝統のある街で、会津地方の経済、社会、文化の中心都市としての役割を果たしてきました。しかし、近年は人口が年間1,000人減、高齢化率は約27%と少子高齢化が進んでいます。

市民の死亡要因を生活習慣病が約6割を占め、医療費・介護・障がい者・生活保護者全てに生活習慣病が深く関わっているという現状を把握しました。そこでまず、保健師の指導率向上に向けた保健業務の効率化を図り、徹底した家庭訪問や健診受診の啓発活動を行いました。結果、健診受診率が向上し、疾病の早期発見や生活習慣病の指導・改善ができ、医療費削減につながったとのことでした。

本村においても、保健師がフル稼働で村民の健康管理をしています。本来の保健指導以外の事務作業が多く、専門性が最大限に活用できていないように見受けられます。生涯健康で活力を持つて長生きできることが村民の皆さまの願いではないでしょうか。乳幼児から高齢者まで幅広く対応する保健師の人数確保と業務の効率化で、保健指導に専念できる体制と、「心に響く指導」できるスキルアップ体制の強化の必要性を今回の視察を通して痛感いたしました。

最後に、会津若松市発行の「歩いてあいづウォーキングマップ」をいただいてきました。ウォーキングを楽しむ団体・個人が推薦するコースや地元の再発見できる見所（写真入り）など、個人の体力や目的に合わせて無理のないウォーキングを楽しめる冊子で、とても見やすく編集され

ていて実際に歩いてみたくなりました。日々車移動のみの生活ですが少しの余裕を持つて、歩く習慣を身につけていくことが健康づくりの第一歩であると改めて心に刻むことができました。



会津若松市役所にて

※フィールド・イノベーションとは
業務の可視化による業務改善のこと。

総務常任委員会 視察研修報告

視察日

平成27年11月26日～27日

視察先

- ・ 福島県相馬市復興支援センター
- ・ 宮城県名取市閑上地区
- ・ 福島県双葉郡広野町役場

視察目的

- ・ 東日本大震災により被災した相馬市と名取市の復興・再建の状況と防災施設等の視察。
- ・ 28年度の設置に向けて検討・協議を行っている防犯カメラの設置について、先進地である広野町の設置状況及び運用等の視察研修。

視察内容

1日目、相馬市被災状況を慰霊碑のある伝承鎮魂記念館において、語りべの方から当時の状況を涙ながらに説明をいただきました。（義父と夫

を目前で亡くした。）被災による死者数は480余名を超え、殉職された若い消防団員10名の写真が寂しく掲示されていました。

しかし、復興再建は進み、漁業の本格操業ができるよう様々な施設が建設され、災害公営住宅や防災備蓄倉庫等の近代施設には驚かせられました。



東日本大震災の被害の記録

次の日は、名取市閑上地区の復興状況を視察しました。4年前に来た時には船が道路際に放置され、車や壊れた家



閑上地区の種の慰霊碑

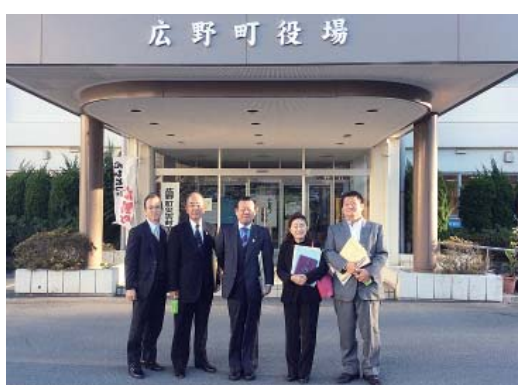
屋等が散在しておりましたが、現在それらは整理されていたものの、復興には相当の時間を要すると感じられました。

午後には、放射能の数値を気にかけながら移動し、広野町の見守りカメラ整備事業の研修を町庁舎とカメラ設置場所において、菅野副町長・環境防災課長の出席のもと説明を受けました。

広野町は、震災による家屋、公共施設の被害も甚大でしたが、福島原発から10キロ圏内

での避難指示が発令され、一年後には避難指示が解除になったものの、帰還率は30%台と低く、町内に暮らす復興従事者は3,000人を超え、地元民とのトラブルや空き巣等が増加し、児童・生徒の通学見守りを重点とした対策として25台のカメラによる監視体制の強化を図りました。

美浦村においても、稲敷警察署と連携を密に、犯罪抑止に向けて防犯カメラの設置を積極的に推進するよう考えていきます。



広野町役場にて



龍ヶ崎地方衛生組合 視察研修報告

視察日

平成 27 年 11 月 12 日～13 日

視察先

- ・ 北海道夕張市役所
- ・ 夕張市汚泥再生処理センター

視察目的

夕張市の汚泥再生処理センターが行う、し尿処理等の処理運営管理における衛生事務等、並びに財政再生計画についての状況を視察研修することにより、さらなる広域衛生及び行財政の進展及び運営の参考とすることを目的とする。

参加者

石川 修 小泉嘉忠

視察内容

夕張市は、道内中央に位置し、総面積の 90% 以上が林野で、河川流域以外、農耕が求

められず、気候等の地域特性に即応した農業振興が模索されました。

かつては市内で、石炭を採掘していましたが、エネルギー政策の転換により炭鉱が閉山し、昭和 35 年の人口 11 万 6,908 人をピークに、昭和 60 年 3 万 1,665 人、平成 27 年 4 月 1 日現在では 9,362 人と人口が激減しました。また、人口密度が低く、沢沿いに集落が点在し、下水道を全域に敷設するには効率面で非常に難しく、「平和し尿処理場」は、市の環境



財政再生計画について学ぶ

衛生において果たす役割は大きいものでした。

しかし、昭和 32 年から一部増改造を施しつつ、57 年間に尿処理を行ってきたが、施設の老朽化・劣化が激しく、現在の人口も施設建設時の 10 分の 1 程度にまで減少し、維持管理費の負担も大きいことから、環境省所管の「循環型社会形成推進交付金・がんばる地域臨時交付金」を活用し、し尿、浄化槽汚泥に加えて、生ごみも再資源化でき、維持管理を考慮し、設備を同一建物に納める最新の技術を導入したコンパクトな施設「汚泥再生処理センター」を新設しました。

施設の特徴として、きれいな処理水を夕張川支流の志幌加別川に放流するため、膜分離高負荷脱窒素処理方法を採用しました。その処理工程よりリンを回収し、肥料として利用、また、生物脱臭、薬物脱臭、活性炭脱臭を組み合わせ

せることで臭気対策を行い、周辺環境に配慮した設備となっています。

夕張市の置かれている厳しい状況の中で、「汚泥再生処理センター」を建設したことは、市民生活の安全・安心な暮らしを支えるもので、将来のまちづくりにつながるものと考えます。当組合では、現在処理人口に大きな変化は出ていませんが、夕張市のように人口が減少した場合も想定し、処理施設の対策等で参考にしていきたいと思っています。



施設の処理運営を研修

稲敷地方広域市町村圏事務組合 視察研修報告

視察日

平成27年11月18日～19日

視察先

・徳島県吉野川市徳島中央
 広域連合

「消防本部」

・兵庫県淡路市北淡震災記
 念公園

「野島断層保存館」

視察目的

当組合議会運営と広域行政
 が一層の進展と効率化を目指
 することを目的とする

参加者

林 昌子 飯田洋司

視察内容

徳島中央広域連合(以下「広
 域連合」)は、昭和45年に徳
 島県中央地区広域市町村圏振
 興協議会として発足し、平成
 9年2月、ふるさと市町村圏
 基金の管理母体として、広域
 連合に改組され、現在は、吉

野川市・阿波市の2市で構成
 されています。

広域連合では、5年ごとに
 広域計画を策定しており、現
 在平成28年度から平成32年度
 までの「徳島中央広域連合広
 域計画」を策定している段階
 でした。当組合との違いは、
 介護認定審査会を広域連合で
 設置・運営しているところで
 す。広域連合管内の平成27年
 3月末高齢化率は32・2%と
 なっており、5年前の計画策
 定時より3・9%増となつて



徳島中央広域連合にて

います。介護認定審査会の運
 営を適正かつ迅速に行うた
 め、関係市と連携を図り、効
 率的な事務処理を進めるとの
 方針でした。同様に障害支援
 区分認定審査会も設置及び運
 営を行っています

多様化・高度化する住民
 ニーズに的確に対応するた
 め、関係市との連携と協調を
 深め、その果たすべき役割を
 分担しながら、広域行政を推
 進していくところは、これか
 らの当組合の将来像ではない
 かと感じました。

北淡震災記念公園は、平成
 7年1月17日に発生した兵庫
 県南部地震(阪神・淡路大震
 災)で現れた国指定天然記念
 物・野島断層をありのままに
 保存・展示を行っている施設
 です。野島断層保存館は、20
 年前の阪神・淡路大震災を強
 烈に思い起こさせ、自然の驚
 異を如実に語りかけてきま
 す。「震災を語り継ぎ、教訓
 を未来に活かし、将来起こり



地震のエネルギーの巨大さを肌で感じる

うる大地震で少しでも犠牲者
 を減らしたい」との思いが込
 められ、この野島断層を保存
 しているそうです。

本村では、平成23年3月11
 日に発生した東日本大震災を
 経験しました。その中で、日
 ごろより防災意識を高め、県
 内最下位の自主防災組織率を
 引き上げる対策を現在進めて
 いるところです。

今回の研修で、広域行政の
 今後の姿と自主防災組織の取
 り組みを考えさせられまし
 た。



議員活動

11 月	1 日	いばらきまつり
	2 日	龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会
	3 日	村産業文化祭
	5 日	議会厚生文教常任委員会視察研修 ～6 日
	6 日	ハーモニートップセミナー
	7 日	稲敷地区交通安全母親大会
	8 日	阿見町町村合併 60 周年記念式典 利根町制施行 60 周年記念式典
	9 日	村定期監査
	10 日	村定期監査 県南町村議会議員大会
	11 日	村定期監査 町村議会議長全国大会 美浦中学校芸術鑑賞会
	12 日	龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修 ～13 日
	13 日	村定期監査 滋賀県栗東市議会視察研修受け入れ
	14 日	郵便局主催輪投げ大会
	15 日	城里町誕生 10 周年記念式典
	16 日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会
	17 日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
	18 日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会視察研修 ～19 日
	19 日	山形県尾花沢市議会視察研修受け入れ
	20 日	園児・児童の芸術鑑賞会 戦没者追悼式
	21 日	美浦老連輪投げ大会
	24 日	民生委員推薦会 江戸崎地方衛生土木組合出納検査
	25 日	AED講習会 議会地方自治研究会
	26 日	議会総務常任委員会視察研修 ～27 日 江戸崎地方衛生土木組合議会定例会
	27 日	喜寿お祝会 大谷小学校絆プロジェクト会議
	30 日	地域担い手育成総合支援協議会 シルバー人材センター理事会 ごみ焼却施設・リサイクルセンター整備計画視察

12 月	1 日	議会運営委員会
	2 日	村例月出納検査 年末の交通事故防止県民運動に伴うキャンペーン 社会教育委員会議
	8 日	議会定例会 議会全員協議会 タブレット端末利用促進検討委員会 国道 125 号大谷バイパス整備促進に関する要望
	9 日	議会総務常任委員会 議会厚生文教常任委員会
	10 日	議会全員協議会 議会経済建設常任委員会
	11 日	議会全員協議会 年末県下一斉街頭活動に伴う防犯キャンペーン
	13 日	美浦村制施行 60 周年記念美浦ステークス
	15 日	議会定例会
	18 日	議会定例会 議会地方自治研究会 議会広報公聴委員会 タブレット端末利用促進検討委員会
	24 日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査
1 月	25 日	村例月出納検査
	6 日	県南町村負担金審議委員会
	7 日	明日の茨城づくり新春の集い
	9 日	消防出初式
	10 日	成人式典
	13 日	議会地方自治研究会
	15 日	新春賀詞交歓会
	16 日	日本中央競馬会中山競馬場視察
	19 日	茨城県国民健康保険運営協議会会長会定期総会
	22 日	議会広報公聴委員会 江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会 町村議会議長会議臨時会 町村長・議長合同会議定例会
	26 日	美浦ハイテクファーム視察 江戸崎地方衛生土木組合出納検査
	27 日	村例月出納検査
	28 日	議会経済建設常任委員会視察研修 ～29 日
	29 日	老人クラブ連合会新年役員会

次回定例会は、3 月 2 日（水）開会予定です。

議会を傍聴してみませんか

- 役場 1 階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています

お問い合わせ先

議会事務局

☎ 029-885-0340 内線 301・302

E-mail gikai@vill.miho.lg.jp

URL <http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>



議会広報公聴委員会

委員長 山崎 幸子
委員 飯田 洋司
委員 葉梨 公一

副委員長 岡沢 清
委員 塚本 光司
委員 竹部 澄雄

委員 椎名 利夫
委員 小泉 嘉忠
委員 松村 広志